

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 30 年 8 月 2 日

氏 名: 久末 麻梨乃

留学時所属 & 学年: 国際地域学部2年

留学先大学	ナポリ東洋大学
留学先国	イタリア
留学期間	1学期間
留学開始一終了日	2018年3月1日 - 2018年7月30日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

海外に興味があり、将来のしたいことへつなげることができると思ったから。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

入学時から TOEFL の目標点数を取れるように、何度も問題集を解きましたが、それ以外の準備を本格的始めたのは、派遣先大学が決まってからです。5つまで留学先を希望できるのですが、5つ全部行きたかったので、決まってからさらに詳しく現地の情報を調べました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

助言教員の先生の出身校だったこと、観光に興味があつて、留学中にいろいろな観光地に訪れたいと思ったこと、日本人があまりいない地域がいいと思ったこと、食べ物が美味しいところが良かったことを考慮して選びました。

福井大学に留学していたナポリ東洋大の生徒や、助言教員の先生に聞いたり、インターネットの記事を見たりしました。（インターネットの情報が少しオーバーすぎると気づきました。）

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL ITP を530点が取れるまでに、2回受け、その後550点を取れるように、5回受けましたが、結局550点は取れませんでした。試験対策としては、形式に慣れることが大事だと思ったので、答えを覚えていても何度も同じ問題集を解きました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

助言教員の先生や、ナポリ東洋大学からきていた生徒に現地情報を聞いたこと。
現地の人から見るよりかは、少し危ないと思った方がいいけど、いろいろなネット記事よりは、深く情報が聞けるのでいいと思いました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

英語開講科目が少ないことや、院生向けの科目が多かったこと。また、キリスト教の知識が少なかったので、授業についていくのが大変でした。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

自由な感じでした。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

あまり知らなかったかもしれませんが、この3つともなかったように思えます。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

サークル活動はしませんでした。
周りにもサークル活動していた人はいなかったように思います。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数/ 週	単位数	クラス内の 人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
	Letteratura Anglo- Americana I - II - Magistrale	Donatella Izzo	4h	8(日 本で は 5. 3単位 くらい)	30(クラス に出てきて いない人 が多すぎ て、本当は 50人近く いると思い ます。)	アメリカの文学を通し て、ジャスティスやフィ ロソフィーについて学ん だ。
	イタリア語	Salvatore Orlando	6h	6(日 本の4 単位)	10人くら い	授業内容:イタリア語の 挨拶から、道案内、1 日の生活をイタリア語 で学びました。

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

アメリカ文学を学習するにあたって、キリスト教のことや、哲学の知識が必要だったので、予習の時に一緒に確認するようにしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

予習をどれだけしても現地の学生のような知識がないため、講義を録音して、三回くらい聞いていました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

アメリカ文学: 2時間先生が話していて、そこで疑問に思ったことや意見を生徒が積極的に手を上げて発言していた。パワポや板書、プリントはなかったので、留学生には少し大変だと思いました。

イタリア語 A1 という初級のクラスからイタリア語での授業を受けました。周りが同じレベルからのスタートなので、雰囲気良かったです。しかし、教材も授業内の言語も、一回目から全てイタリア語だったので、わからない単語があった時には大変でした。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

私がとったどちらの授業も先生が優しく、質問がとってもしやすかったです。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋 シェアハウスに住んでいたため、私を含め5人でフラットのワンフロアを使っていました。
寮・アパート名	
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 他の人が電話をしだすと急に繋がらなくなりましたが、その他の時間は結構サクサクと使えました。
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他() 冷房設備はありませんでしたが、暖房器具として、お湯が循環して暖かくなるようなものがありました。
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) キッチン(皿や調理器具付き)、シャワー、洗濯機

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学周辺: キャンパスが街中にあるのですが、どのキャンパスの近くにもスーパーやレストランがあります。日本食レストランは利用していないのでわかりません。

住居周辺: 徒歩3分のところにスーパーと徒歩6分のところに銀行がありました。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地では口座を開設していません。現金はキャッシュパスポートを使いATMから引き出していました。クレジットカードは大きい買い物をするときくらいしか使いませんでした。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

私は、歯ブラシや、化粧水、食器用洗剤など身の回りのものをかなり持って行きました。私は、休暇期間に旅行をしたのですが、LCCだと、大きな荷物が持ち込めないので、少し大きめのリュックが役に立ちました。また、ビーサンなどホステルで共有バスルームを使う時に役に立ちます。旅行に関してだと、100ミリ以下のシャンプーを入れる容器を持っていくのをお勧めします、ナポリではそういうものをあまり売っているところを見ませんでした。

必要だったと思うものは、日本の調味料などです。売っていないことはないですが、高いし、見つけにくいので、スペースがあるのであれば、持っていくといいと思います。葛西さんも書いていましたが、ドレッシングはイタリアにもなかったと思います。イタリアでは、オリーブオイルと塩とバルサミコ酢で食べるようで、さすがに飽きてしまうと思いました。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝ユーロ)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	17万円	食費	
保険代	約9万円	家賃	約22万円(1750ユーロ)
予防接種・ビザ代	2万円	教科書代	
交際費(外食等)		その他	

合計: 約50万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

石畳が多いので、ヒールはお勧めはしません。服装は、日本にいる時よりはでな印象を受けました。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

利用していないのでわかりません。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

してないので、わかりません。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

日本からは、常備薬の他に、硬水で荒れてしまうという情報を見たので、保湿する用の薬や、虫刺されの薬を持参しました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に、日本人があまりいない地域で、留学を通して自立すること、英語があまり通じないところで、自分のコミュニケーション能力を向上させること、そして、将来観光に携わる仕事がしたいので、観光都市であるナポリや、ヨーロッパで生活することでいろいろ学びたいという3つの目標があり、全てを達成できたと私は、思っています。

ナポリでの生活を通して、臨機応変に対応できるようになったり、自分のやって欲しいと思うことは、じっくり何度もかけあう、また現地の言葉の重要性を学びました。また、学業を通しては、キリスト教がみんなの中で当たり前ものになっていて、授業とかで、アダムとイブの話などがよく出てきて、日本とは違うと思いました。

期待した以上に達成できたことは、いろいろなところを見て回ることです。長期休暇を利用して、ヨーロッパの他の国に旅行に行ったり、イタリア国内を見て回れたので、日本の観光都市との違いを自分の目で見て回れてよかったです。

留学中に努力したことは、授業の予習復習です。毎回二回ずつ読んでいって、授業から帰ってきて、録音を聴き直して、ノートで抜けてる部分を埋めていました。

留学が終わって変わったと思うことは、臨機応変力がついたこと、何があってもあまり動じなくなったこと、コミュニケーション能力が向上したことです。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

最初の方は治安が悪いと聞いたり、思い込みすぎていて、家の中で過ごす時間が多かったので、もっとナポリの観光をすればよかったですと思いました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後は、TOEIC で、良い点を取れるように Reading を中心に勉強することと、イタリア語検定など、いろいろな資格を取りたいと思います。進路に関しては、イタリアでの経験が活かせるようなものと自分がしたいことを考え、インターンなどに参加したいです。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

日本とは違って、刺激がある毎日を送ることができるし、毎日ハプニングがおこるので、かなり臨機応変に対応できるようになると思います。笑

イタリアの人たちは、イタリア語が話せなかった私にもかなり優しく接してくれました、もちろん知らない人もです！おじさんたちは、買ってきた水を運ぶ私を見て、頑張って～とウインクしたりしてくれました。一人で違う国に行くのはかなり勇気がいるし、大変だと思いますが、絶対に楽しくて、温かい毎日が送れると思います！ナポリで楽しい留学生活を送ってください！